

専 門 教 養
令和元年 7 月
60 分

受 験 教 科 等
中・高等学校共通 地理歴史

注 意

- 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 問題の音読等、他の受験者の迷惑になるような行為、携帯電話の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 問題冊子のページ数は、55ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 解答用紙に**必要事項の記入やマークがない場合や誤っている場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名を記入**してください。また、【3】の欄には、**選択した問題を表す記号（A、B又はC）を必ずマーク**してください。
- この問題は、**共通問題 1 ~ 4**、科目別の**選択問題 A 世界史、B 日本史、C 地理**の各問題から構成されています。次の表に従って、解答してください。

共通問題（全員が解答する）		
共通問題 1 ~ 4（1ページ~15ページ）		
選択問題（いずれか一つを選択して解答する）		
A 世界史 (16ページ~27ページ)	B 日本史 (28ページ~39ページ)	C 地 理 (40ページ~55ページ)

- 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年又は平成30年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 問題の内容についての質問には一切応じません。

解答上の注意

- 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。問題には、選択肢から選び解答する場合や、数字又は符号（-）を入れて問題文を完成させて解答する場合などがあり、解答方法が複数ある場合とどれか一つのみの場合とがあります。
- 「解答番号は **1**。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例1）のように解答番号 **1** の解答欄の③にマークしてください。

(例1)

解答番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。

3 問題文中の 、 などの には、数字又は符号（-）が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1) 、、、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号（-）のいずれか一つに対応します。それらを 、、、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="2"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
<input type="text" value="3"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="4"/>	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に 、 などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、、 のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\text{56}}{\text{7}}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$ として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="5"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
<input type="text" value="6"/>	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="7"/>	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

4 「ただし、選んだ数字の小さい順にマークすること。解答番号は 、、。」と表示のある問に対して、2と5と8と解答する場合には、次の(例4)のように「②、⑤、⑧」の順にマークします。

このとき、「②、⑤、⑧」以外の「⑤、②、⑧」や「⑧、②、⑤」などの順にマークした場合には、不正解となります。

(例4)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="11"/>	① ● ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="12"/>	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="13"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖

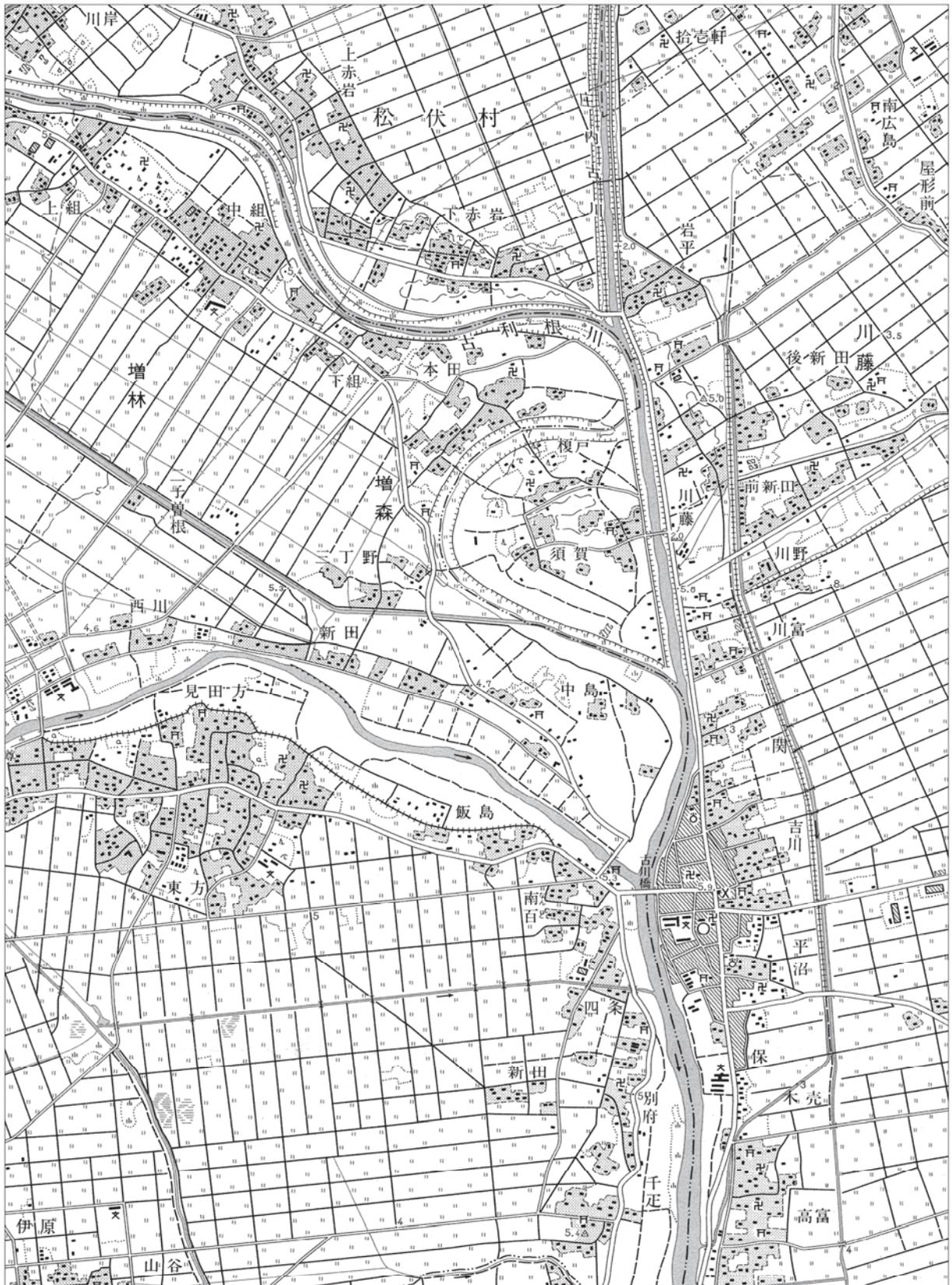
共通問題

1 地理的分野に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次のページの地形図 1 と地形図 2 は、国土地理院発行の同じ地域の地形図で、地形図 1 は昭和43年、地形図 2 は平成18年発行のものである。地形図 1 と地形図 2 とを比較した説明として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

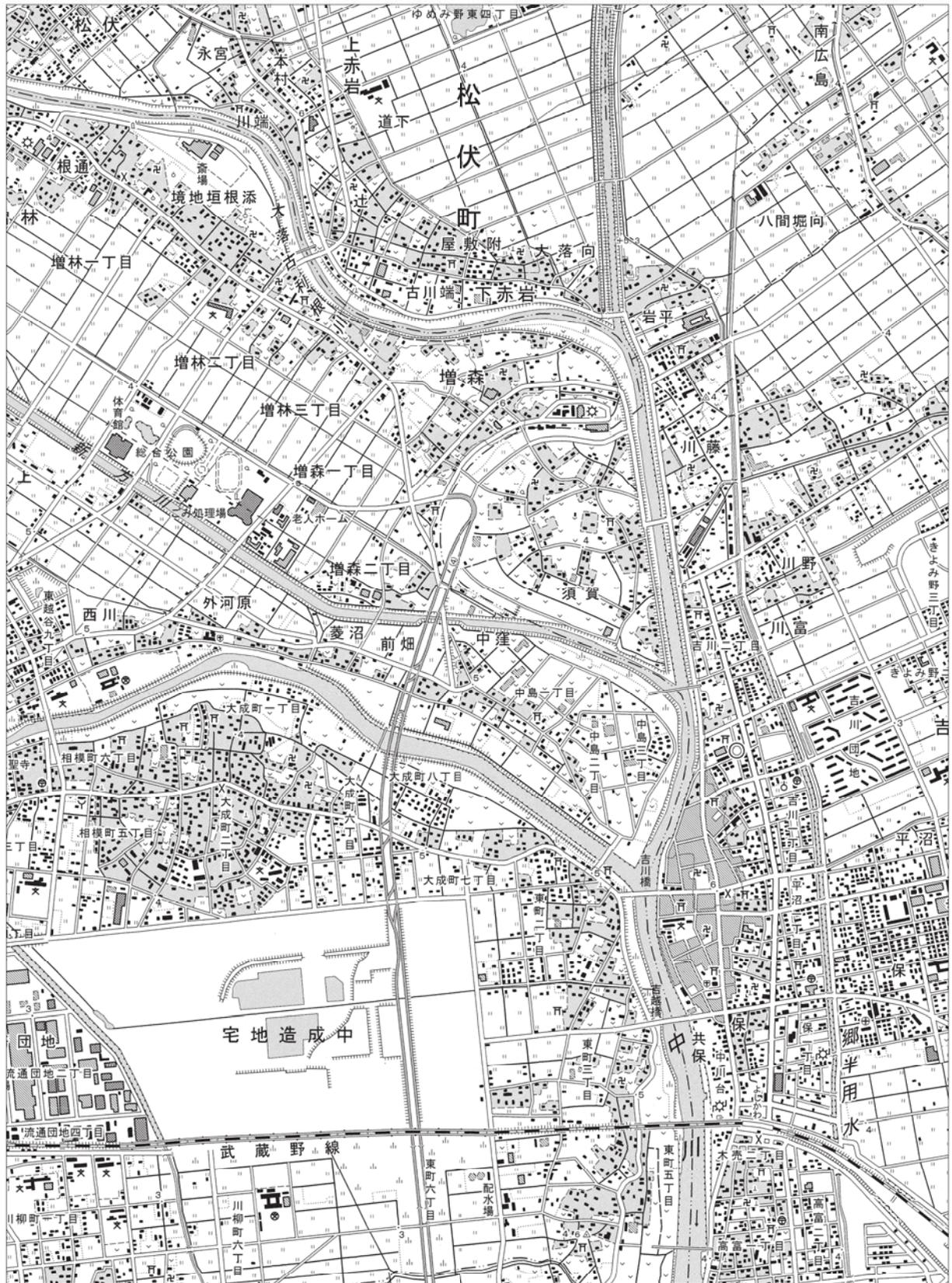
- 1 地形図 1 北部の古利根川の左岸には、水害に遭いにくい後背湿地上の上赤岩や下赤岩に集落が立地していたが、地形図 2 の同じ地域では自然堤防上のゆめみ野東四丁目まで開発が進んでいる。
- 2 地形図 1 及び地形図 2 中央部の須賀付近の郡・市界部分は河川の旧流路であると考えられ、地形図 1 では大部分が田であったが、地形図 2 の同じ地域では畑や茶畑もみられるようになった。
- 3 地形図 1 中西部の二子曾根付近は低湿地であり、農業的土地利用が顕著であったが、地形図 2 の同じ地域では体育館や総合公園などの都市的土地利用もみられるようになった。
- 4 地形図 1 南西部の伊原から新田付近は低平な台地であり、農業的土地利用が顕著であったが、地形図 2 の同じ地域では複線の J R 線が開通し、鉄道の南側では大規模な宅地開発が進行している。

地形図 1



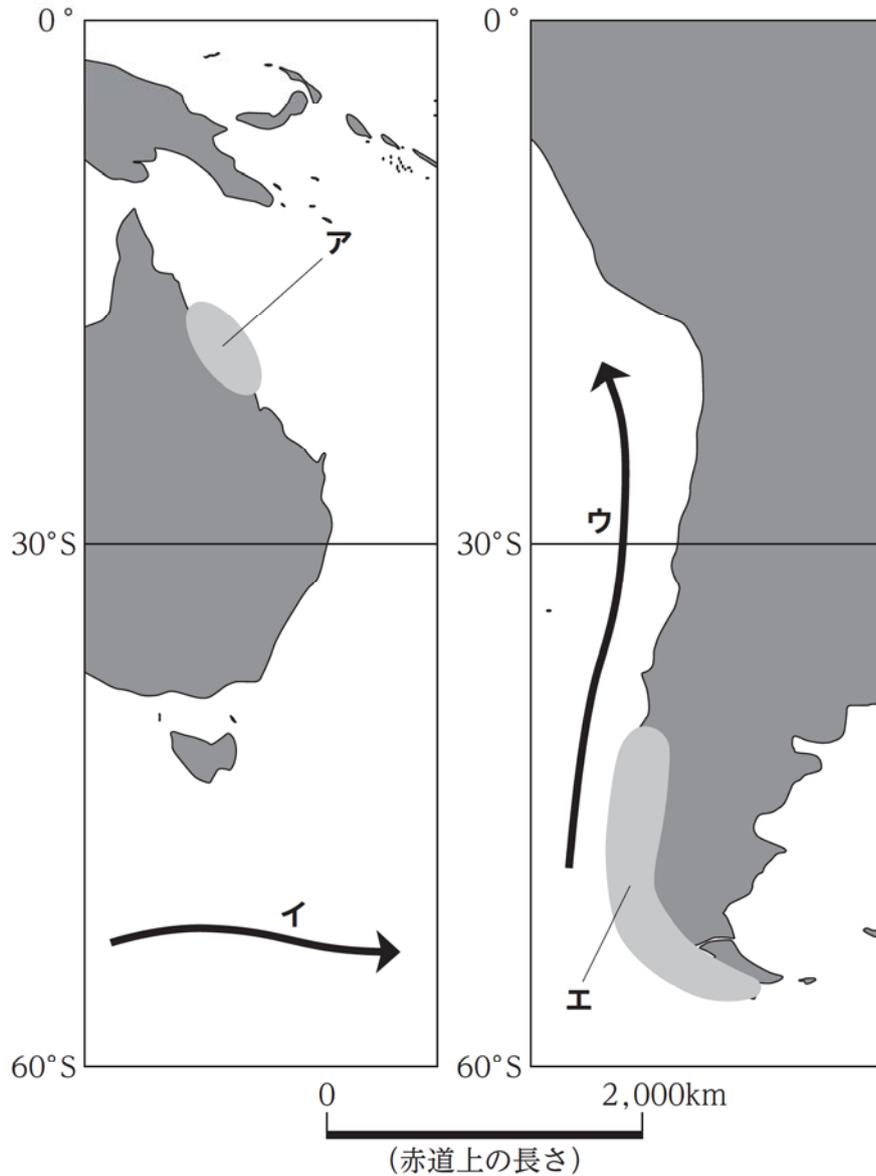
(1 : 25,000 「越谷」 昭和43年発行から作成)

地形図 2



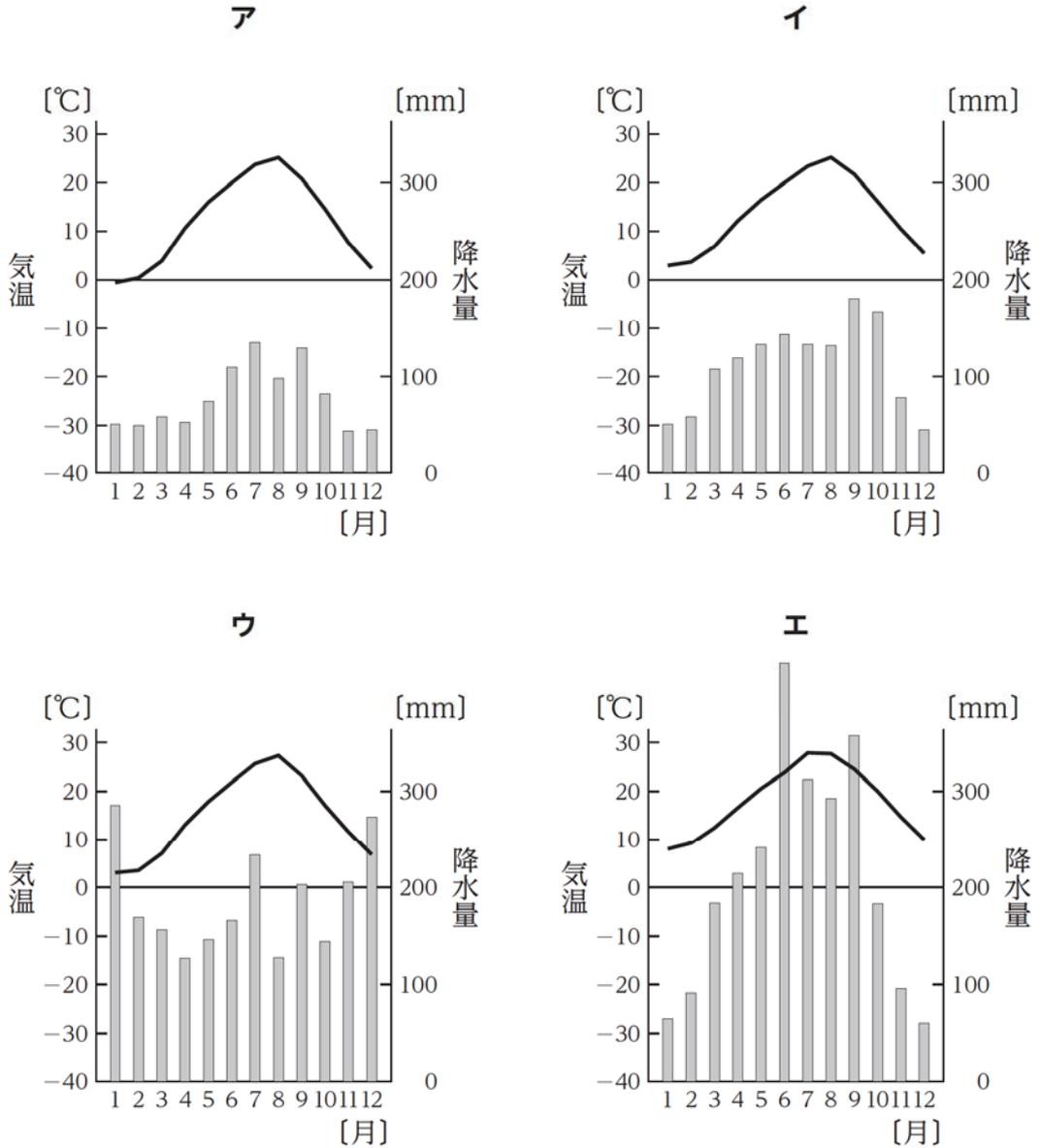
(1 : 25,000 「越谷」平成18年発行から作成)

[問 2] 次の略地図は、同緯度におけるオーストラリア大陸付近の一部と南アメリカ大陸の一部及びその周辺の海流を模式的に示したものである。略地図に示された範囲における海岸地形ア・エ及び海流イ・ウの説明として最も適切なものは、下の1～4のうちではどれか。
 解答番号は 。



- 1 略地図中のア・エは、共に氷食谷が沈水して形成された入江又は湾が見られる地域である。
- 2 略地図中のア・エは、共に硬い骨格からなる造礁サンゴなどの生物が集積、団結して造られた地形が見られる地域である。
- 3 略地図中のイ・ウは、共に周囲の海水に比べて高温、高塩分で、溶存酸素、ケイ酸塩、リン酸塩などに乏しい海流である。
- 4 略地図中のイ・ウは、共に周囲の海水に比べて低温、低塩分で、溶存酸素、ケイ酸塩、リン酸塩などが多い海流である。

[問 3] 次の雨温図ア～エは、それぞれ次のページの略地図中のA～Dのいずれかの地点の月平均気温と月降水量を示したものである。ア～エと、A～Dとの組合せとして適切なものは、次のページの1～8のうちどれか。解答番号は 。



(二宮書店「データブックオブ・ザ・ワールド2018年版」から作成)



- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| 1 | ア-A | イ-B | ウ-C | エ-D |
| 2 | ア-A | イ-C | ウ-D | エ-B |
| 3 | ア-B | イ-A | ウ-D | エ-C |
| 4 | ア-B | イ-D | ウ-C | エ-A |
| 5 | ア-C | イ-B | ウ-A | エ-D |
| 6 | ア-C | イ-D | ウ-B | エ-A |
| 7 | ア-D | イ-A | ウ-B | エ-C |
| 8 | ア-D | イ-C | ウ-A | エ-B |

[問 4] 次の図は、我が国の一次エネルギー供給の構成の推移を示したもので、ア～オは、それぞれ原子力、水力、石炭、石油、天然ガスのいずれかである。また、下の表のA～Cは2016年における石炭、石油、天然ガスいずれかの我が国の主な輸入先と輸入量の合計に対する割合を示したものである。天然ガスを示す組合せとして適切なものは、下の1～0のうちのどれか。解答番号は 。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

(日本エネルギー経済研究所計量分析ユニット「EDMC/エネルギー・経済統計要覧2018年版」から作成)

[%]

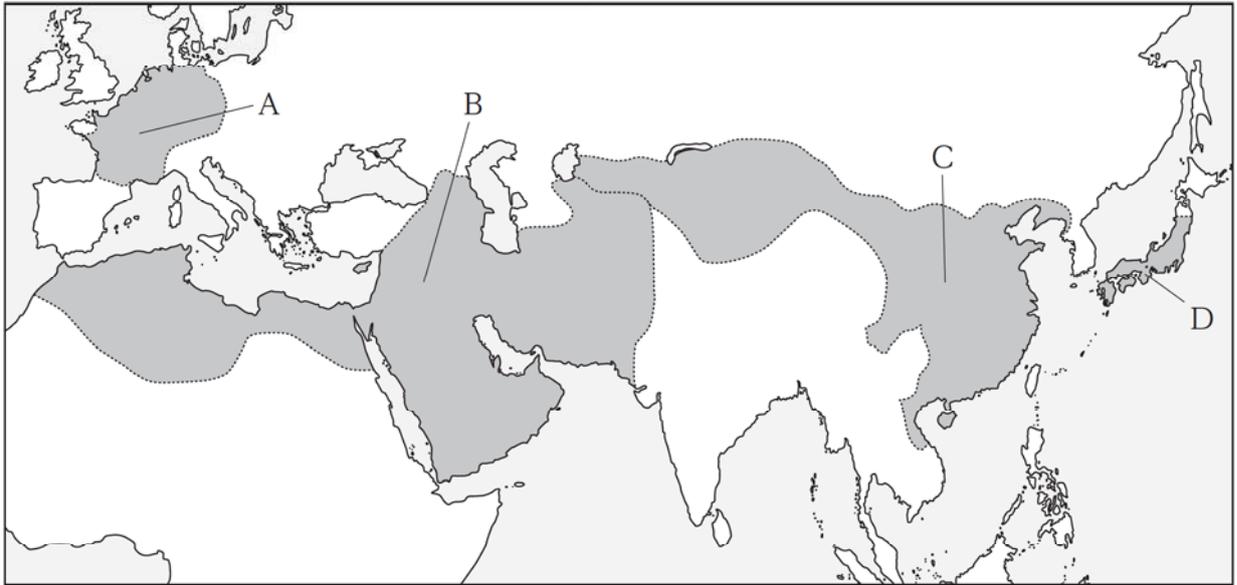
A		B		C	
オーストラリア	26.9	サウジアラビア	35.7	オーストラリア	64.0
マレーシア	18.6	アラブ首長国連邦	24.5	インドネシア	17.1
カタール	14.5	カタール	9.2	ロシア	9.5
ロシア	8.8	クウェート	6.8	カナダ	4.4
インドネシア	8.0	イラン	6.7	アメリカ	2.5
その他	23.2	その他	17.1	その他	2.5

(二宮書店「データブックオブ・ザ・ワールド2018年版」から作成)

- 1 アーA 2 アーB 3 イーB 4 イーC 5 ウーA
 6 ウーC 7 エーA 8 エーB 9 オーB 0 オーC

2 歴史的分野に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の 8 世紀の略地図中に示された A～D の地域に関する記述として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。



- 1 A の地域では、8 世紀末にフランク王国のピピンがローマ教皇よりローマ皇帝の帝冠を授けられ、「西ローマ帝国」の復活が宣言され、西ヨーロッパ世界が成立した。
- 2 B の地域では、8 世紀半ばに後ウマイヤ朝が成立し、新首都のバグダードが建設され、全ムスリムに平等な社会進出の機会が与えられ、「イスラーム帝国」と呼ばれた。
- 3 C の地域では、唐が都の洛陽を中心とし、律令を整備し、三省と六部を中心とする中央官制を確立した。
- 4 D の地域では、奈良に都が置かれ、天平文化と呼ばれる国際色豊かな文化が栄え、鑑真が来日した。

[問 2] 平安時代の出来事に関する次の記述ア～エを年代の古いものから順に並べたものとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

ア 尾張国の郡司・百姓らが、尾張国守藤原元命の非法などについて、31か条にわたって列挙し、罷免を朝廷に要求した。

イ 奥羽の豪族である清原氏の中で内紛が発生し、藤原清衡の要請に応じて下向した源義家は苦戦の末にこれを平定し、藤原清衡は奥州に確固とした基礎を築いた。

ウ 備中国下道郡邇磨郷を例に取って、租税負担者である課丁の数が激減していく様子を描くことで、地方財政の衰退を訴えた意見書が醍醐天皇に提出された。

エ 寛徳2年以降の新立荘園を停止し、それ以前に成立した場合でも、券契の明らかでないものや国務に妨げあるものを停止する荘園整理令が後三条天皇により出された。

1 ア → イ → ウ → エ

2 イ → ウ → ア → エ

3 ウ → ア → エ → イ

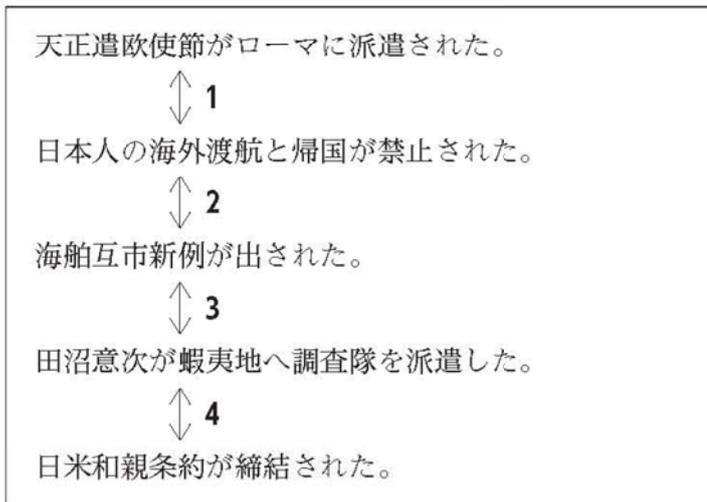
4 エ → イ → ア → ウ

[問 3] 次の史料は、ある法令の一部である。この法令が出された時期として適切なものは、下の図中の **1** ~ **4** のうちのどれか。解答番号は 。

史料

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

図



[問 4] 19世紀の世界の文化や科学に関する記述として適切なものは、次の **1** ~ **4** のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 チャップリンは自ら監督と主演をした映画で、ヒトラーを風刺した独裁者役とユダヤ人の理髪師役の二役を演じ、ナチズムを痛烈に批判した。
- 2 ダーウィンは『種の起源』の中で、種は自然淘汰によって進化したとする学説を発表した。
- 3 イギリスの物理学者・数学者であるニュートンは、『プリンキピア』を著して、近代科学の理論的方法を集大成した。
- 4 オーストリア出身の作曲家であるモーツァルトは、『ジュピター』や『魔笛』など多くの作品を残し、古典派音楽を確立した。

3 公民的分野に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 古代の先哲に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **9**。

- 1 ソクラテスは、無知を自覚しながら知を探求する営みにおいて、人間の生き方についての普遍的な真理は存在しないと説いた。
- 2 イエスは、神への愛と隣人愛を説き、神の限りない愛は神を敬う者に与えられ、罪を犯した者には与えられないと説いた。
- 3 ガウタマ・シッダールタは、無明や我執から生まれる煩悩が苦しみの原因であり、また、苦行によってのみ輪廻からの解脱が達成されると説いた。
- 4 孔子は、親子間の愛情である孝や兄弟間の愛情である悌を人間関係の基礎とし、人を愛する心である仁と社会規範である礼を重視する実践を説いた。

[問 2] 大日本帝国憲法及び日本国憲法に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **10**。

- 1 大日本帝国憲法では表現の自由の規定に法律の留保があり、日本国憲法では学問の自由の規定に公共の福祉による制約がある。
- 2 大日本帝国憲法では臣民の義務の規定に勤労の義務があり、日本国憲法では国民の義務の規定に勤労の義務のほか、教育を受けさせる義務、納税の義務がある。
- 3 大日本帝国憲法では帝国議会を天皇の立法権への協賛機関と規定し、日本国憲法では国会を国権の最高機関で、国の唯一の立法機関と規定している。
- 4 大日本帝国憲法では裁判所を臣民の名において法律により司法権を行使する機関と規定し、日本国憲法では特別裁判所の禁止、行政機関の終審裁判の禁止を規定している。

[問 3] 我が国の租税に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 国税には所得税や相続税や酒税が含まれ、地方税には固定資産税や事業税や自動車税が含まれる。
- 2 直接税は租税負担者が直接納める税のことであり、代表的なものとして累進課税制度を採用している法人税がある。
- 3 間接税は租税負担者と納税者が異なる税のことであり、代表的なものとして住民税がある。
- 4 租税の公平の原理には、同じ経済力の者は同じ租税負担をする垂直的公平と、より経済力のある者はより大きな租税負担をする水平的公平という二つの考え方がある。

[問 4] 次の表は、我が国の2016年における二国間政府開発援助の地域別実績を示したものであり、表中の**ア～ウ**には下のA～Cのいずれかの地域が当てはまる。**ア～ウ**と、A～Cとの組合せとして適切なものは、下の**1～6**のうちのどれか。解答番号は 12。

地域	二国間政府開発援助 [単位：百万ドル]					
	贈与		政府貸付等		支出総額	
	無償資金協力	技術協力	貸付実行額	回収額	合計	構成比 [%]
ア	610.29	673.09	5,754.40	5,250.18	7,037.79	52.3
中東・北アフリカ	687.85	125.60	1,131.23	656.83	1,944.69	14.5
イ	688.69	397.05	404.32	101.39	1,490.07	11.1
ウ	118.29	165.30	145.35	346.55	428.94	3.2
欧州	13.95	17.94	370.16	66.00	402.06	3.0
大洋州	80.48	47.65	52.64	17.80	180.77	1.3
複数地域にまたがる援助等	612.75	1,350.93	2.76	—	1,966.44	14.6
合計	2,812.31	2,777.57	7,860.87	6,438.74	13,450.75	100.0

- (注)・ 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。
 ・ 「—」は、実績が全くないことを示す。
 ・ 複数地域にまたがる援助等には、複数地域にまたがる調査団の派遣等、地域分類が可能なものを含む。

(外務省「2017年版 開発協力白書」から作成)

A サブサハラ・アフリカ B アジア C 中南米

- | | | | |
|---|-----|-----|-----|
| 1 | ア-A | イ-B | ウ-C |
| 2 | ア-A | イ-C | ウ-B |
| 3 | ア-B | イ-A | ウ-C |
| 4 | ア-B | イ-C | ウ-A |
| 5 | ア-C | イ-A | ウ-B |
| 6 | ア-C | イ-B | ウ-A |

4 学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 中学校学習指導要領社会の「各分野の目標及び内容」における〔地理的分野〕の「内容」のうち、「B 世界の様々な地域」において身に付けることができるよう指導することとされている思考力・判断力・表現力等についての記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **13**。

- 1 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること。
- 2 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること。
- 3 世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解すること。
- 4 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。

〔問 2〕 高等学校学習指導要領地理歴史の「世界史探究」において、育成することを目指す資質・能力についての記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **14**。

- 1 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
- 2 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 3 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 4 世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

選 択 問 題

16ページから55ページまでは、選択問題である。

16ページから55ページまでの選択問題 **A** 世界史 (16ページ～27ページ)、**B** 日本史 (28ページ～39ページ)、**C** 地理 (40ページ～55ページ) のうちから、表紙の指示に従って、一つを選択し解答せよ。

なお、解答用紙の【3】の欄には、選択した問題を表す記号 (A、B又はC) を必ずマークすること。

A 世界史

A 1 次の文章を読んで、下の各問に答えよ。

ホモ・サピエンスとして生存するために、人間は環境の変化に適応してきた。更に、環境に適応するだけでなく、環境を利用し、改変するようになった。

① 近世、近代の目覚ましい文明の発展や工業化、それらをもたらしたエネルギー革命によって、② 人間は環境にこれまで以上の影響を与えるようになった。そこからいわゆる地球環境問題③が生じてきているのである。

[問 1] 下線部①に関連して、次の国旗に描かれている杉の木は、古代から建築材や船の材料として使用され、現在ではわずかに残る程度になっているものである。この国旗に関連の深い民族として適切なものは、A群の1～4のうちのどれか。また、A群で選んだ民族に関する記述として適切なものは、B群の1～4のうちのどれか。解答番号はA群が **15**、B群が **16**。



【A群】

- 1 ヒッタイト人
- 2 アラム人
- 3 フェニキア人
- 4 シュメール人

【B群】

- 1 この民族はセム語系で、シリアのダマスカスを中心に、ラクダを利用して広範囲の交易網を成立させたことで知られている。
- 2 この民族はセム語系で、この民族が使用した文字がアルファベットの基となったことやシドンやティルスなどの都市国家を建設し、海上交易を行ったことでも知られている。
- 3 この民族はインド・ヨーロッパ語系で、ハットゥシャを都に王国を建て、鉄器を使用したことや馬と戦車を駆使したことでも知られている。
- 4 この民族は言語の系統が不明で、ウル、ウルク、ラガシュなどの都市国家を建設し、メソポタミア南部に最古の都市文明を築いたことで知られている。

[問 2] 下線部②に関連して、次の資料は、工業化の結果もたらされた状況について描かれた風刺画である。この資料が描かれた時期と同時期の出来事として最も適切なものは、下の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

資料

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

(松村昌家編『『パンチ』素描集』から作成)

- 1 レパントの海戦
- 2 インドシナ戦争
- 3 アロー戦争
- 4 フロンドの乱

[問 3] 下線部③に関連して、次の略地図中の国ア～エは環境問題に関する国際会議が開催された国である。1992年に172か国が参加した国際会議が開催された国として適切なものはA群の1～4のうちのどれか。また、この会議に関する記述として適切なものは、B群の1～4のうちのどれか。解答番号はA群が 、B群が 。



【A群】

- 1 ア
- 2 イ
- 3 ウ
- 4 エ

【B群】

- 1 「かけがえのない地球」がキャッチフレーズとされ、環境問題全般についての大規模な国際会議としては初めてのもので、人間環境宣言が採択された。
- 2 先進国の二酸化炭素などの温室効果ガス削減の数値目標や排出権取引の制度を定めたが、大量排出国であるアメリカが批准を拒否した。
- 3 持続可能な開発を理念とし、21世紀の地球環境保全のための原則やアジェンダ21、気候変動枠組み条約などが採択された。
- 4 気候変動に関する新たな枠組みが採択され、先進国だけではなく発展途上国も含めた世界全体で温室効果ガスの削減に向けて取り組むことになった。

A 2 次の文章を読んで、下の各問に答えよ。

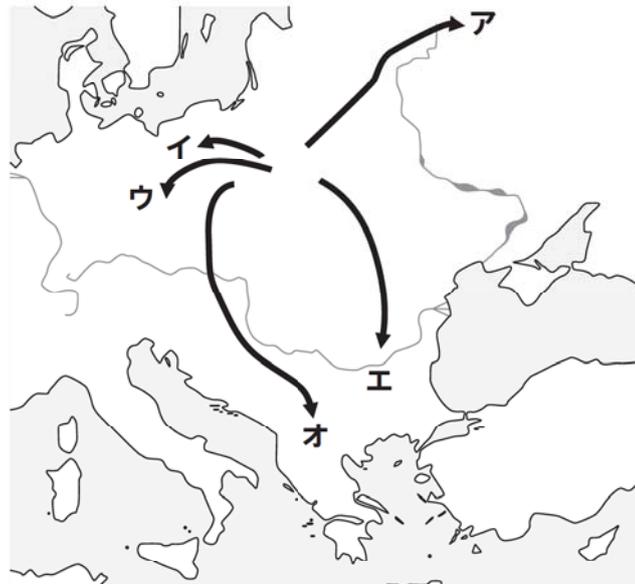
人類の歴史には無数の移動と定住があった。

ヨーロッパでは、西ローマ帝国滅亡とゲルマン人の大移動、建国の後、6世紀以降、カルパティア山脈の北方を原住地とするスラヴ人が、大移動前にゲルマン人が住んでいたビザンツ帝国北側の広大な地域に急速に広がった。

スペインは16世紀初頭に他国に先んじてアメリカ大陸に進出し、主たる入植地であるメキシコ、ペルーにおいてインディオや黒人奴隷に労役をさせた。この地で産出された銀は、16世紀の経済に大きな影響を与えた。

ユダヤ人は、19世紀末以降、パレスチナに移住したが、先住のアラブ人と対立した。そして、1948年のユダヤ人によるイスラエル建国以後、4回の中東戦争が起こった。その間、多くのアラブ人がパレスチナを追われて難民となり、残った者も占領地住民として国家の枠組みから除外された。こうして発生したパレスチナ問題は現在でも解決に至らず、対立が続いている。

[問 1] 下線部①に関連して、次の略地図の矢印はスラヴ人の移動を模式的に示したものであり、略地図中の地域ア～オは、スラヴ人、又はスラヴ化した人々の後の定住地を示したものである。ア～オとこれらの人々の系統、民族名、宗教との組合せとして適切なものは、次のページのA群の1～5のうちどれか。また、A群で選んだ民族に関する記述として適切なものは、次のページのB群の1～4のうちどれか。解答番号はA群が 、B群が 。



【A群】

	地域	系統	民族名	宗教
1	ア	東スラヴ人	ロシア人	カトリック
2	イ	西スラヴ人	ポーランド人	ギリシア正教
3	ウ	南スラヴ人	チェック人	カトリック
4	エ	トルコ系	ブルガール人	ギリシア正教
5	オ	西スラヴ人	セルビア人	ギリシア正教

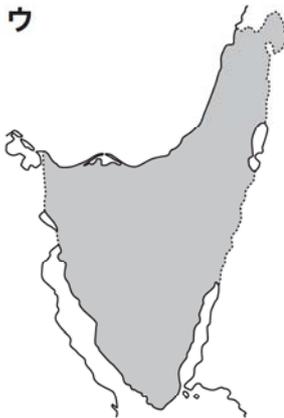
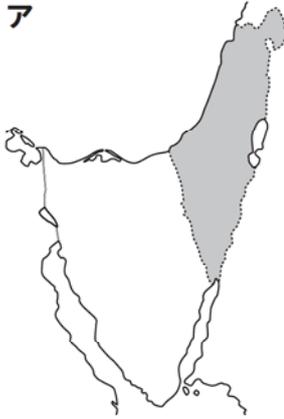
【B群】

- 1 11世紀以降、ビザンツ帝国の実質的支配を受けていたが、その後勢力を拡大し、14世紀に最盛期を迎えた。かつてビザンツ帝国下にあったアルバニアやマケドニアなどを支配下に収めたが、その後弱体化し、コソヴォの戦いでオスマン帝国に敗れ、その支配に従属した。
- 2 ビザンツ帝国とは和平と競合を繰り返し、10世紀前半にはビザンツ帝国を脅かす最大版図を誇った。その後、北方遊牧民のペチェネグ人やキエフ公国からの攻撃を受けて弱体化し、ビザンツ帝国によって一時滅亡した。12世紀には再独立を果たすものの、14世紀末にはオスマン帝国の支配下に入った。
- 3 10世紀に王国を形成すると、その後神聖ローマ皇帝からその地位を認められるに至った。その後の宮廷の内紛により、11世紀後半にはいくつかの侯領に分裂したが、14世紀には大王と呼ばれる王の下で統一が達成された。その後、北方のリトアニア人と合体し形成した王国は、15世紀に最も強大となった。
- 4 10世紀に王国を建てたが、11世紀には神聖ローマ帝国に編入された。13世紀にはハンガリーを破るなど領土を拡大し、中欧の強国となった。14世紀にドイツ系の王朝が成立すると、王は神聖ローマ皇帝を兼任し、ドイツ最初の大学を創設するなど王国の黄金時代を現出した。

[問 2] 下線部②に関連して、16世紀～17世紀初めの銀の流れに関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 南アメリカで産出された銀は、スペイン商人によりジャンク船でメキシコのアカプルコからマニラへ運ばれ、中国商人がガレオン船でマニラに運んだ絹・陶磁器などと交換された。マニラへ運ばれた銀はその多くが中国へと流入していった。
- 2 日本の石見銀山などを中心に産出された日本銀により、日中貿易が急激に拡大した。中国へ流入する日本銀の量は17世紀の初めにはメキシコ銀を圧倒し、この貿易にスペインが参入して巨利を上げた。
- 3 アメリカ大陸からの銀の流入を一因とし、ヨーロッパでは物価が2～3倍に上昇する価格革命が起きた。固定の貨幣地代で生活する領主層は衰退し、南ドイツのフッガー家など銀資本家は没落した。
- 4 世界中の銀が流れ込んだ中国では、明代後期に新しい税法が実施された。それまでの両税法に代わり、地銀の中に丁銀を繰り入れて銀納させる地丁銀制が実施され、これにより古代から続いていた人頭税が廃止された。

[問 3] 下線部③に関連して、次の略地図ア～エの網掛け部分は、それぞれある時期のイスラエル及びイスラエル占領地を示したものである。略地図ア～エに関する記述として適切なものは、下の1～4のうちどれか。解答番号は 23。



- 1 アはパレスチナをユダヤ人国家とアラブ人国家に分割し、イェルサレムは国連管理下に置くとする国連総会で採択された分割案による領土である。パレスチナの全人口の約3分の1のユダヤ人に、パレスチナの56.5%の土地を与える内容をアラブ側は拒否した。
- 2 イは国家建設を目指すイスラエル軍のパレスチナ侵入によって始まり、イスラエルがアラブ側を圧倒して勝利した戦争後の状態で、この結果イスラエルは分割案の約1.5倍、パレスチナ全域の8割を領土とし、大量のパレスチナ難民が発生した。
- 3 ウは六日間戦争といわれる戦争直後の状態で、イスラエルがエジプト・シリア・ヨルダンに先制攻撃をかけ、シナイ半島・ガザ地区・東イェルサレムを含むヨルダン川西岸・ゴラン高原を占領し、新たに多くのパレスチナ難民が発生した。
- 4 エは現在のパレスチナの状態、1993年のイスラエルとPLOによるパレスチナ暫定自治協定の調印後、ガザ地区とイェリコに暫定自治政府が樹立された。しかしその後双方の和平反対派のテロ活動が頻発し、対立が続いている。

A 3 次の問に答えよ。

[問] 次の記述**ア～オ**は、それぞれ当時の世界情勢と近代オリンピック夏季大会との関係を述べたものであり、下のグラフは、近代オリンピック夏季大会の参加国・地域数及び参加選手数の変遷を表したものである。**ア～オ**のそれぞれの大会の開催年として適切なものは、グラフ下の**1～8**のうちのどれか、それぞれ選び答えよ。解答番号は**ア**が 、**イ**が 、**ウ**が 、**エ**が 、**オ**が 。

ア この大会では、前年にソ連がアフガニスタンを侵攻したことに西側陣営が抗議する意味でボイコットしたため、参加国が大きく減少した。

イ この大会では、世界恐慌のさなかであり、参加国が前回大会より減少し、参加した選手も半数以下となった。

ウ この大会では、日本とドイツは招待されなかった。物資が不足する中、多くの国の協力でそれまでの史上最多の国と地域及び選手が参加した。

エ この大会では、母国から出場できない選手で構成された複数地域の混合チームである難民選手団が、史上初めて組織された。

オ この大会では、南アフリカ共和国で行われていた人種差別政策にアフリカの国々が抗議する意味でボイコットしたため、参加国が大きく減少した。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

(小峰書店「オリンピック・パラリンピック大百科4」から作成)

A 4 次の問に答えよ。

[問] 高等学校「世界史B」のルネサンスの学習において調べた内容を発表する活動を行った。発表に向けて、生徒A、生徒B、生徒C、生徒Dは次のような発言を行った。下のア・イは、調べる際に教師が生徒に提示した資料である。それぞれの発言を教師が補足するとき、生徒A～Dの発言と、提示する次のページの資料ウ～カとの組合せとして最も適切なものは、次のページの1～4のうちではどれか。解答番号は **29**。

生徒A：「中世で人間性が否定されたのは分かりましたが、それまで否定されていた人間性の回復と追求の精神は、ルネサンスにどのように反映されているのでしょうか。」

生徒B：「ルネサンスがイタリア半島を中心に展開されたことは分かりましたが、イタリア半島以外の地域には広まったり影響を与えたりしなかったのでしょうか。」

生徒C：「フィレンツェ、ローマ、ミラノなどがルネサンスの中心地であるのは分かりましたが、なぜこれらの都市に芸術家たちが多くいたのでしょうか。」

生徒D：「カトリック的権威主義から合理主義へ世界観が変化したことと、ガリレオ・ガリレイが登場したことに関連性はあるのでしょうか。」

ア 中世とルネサンス期の世界観の違い

中世	ルネサンス期
天へのあこがれ	現実生活への強い関心
人間性の否定	人間性の回復と追求
自然への無関心	自然の研究と讃美
カトリック的権威主義	合理主義

イ ルネサンス期のイタリアとその各都市で活躍した文化人

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

ウ ルネサンス期の都市についての説明

ルネサンスは、地中海貿易の盛んなイタリアや、南北ヨーロッパ商業の要所にあるネーデルラントの諸都市で早くから展開した。都市には学者や芸術家などの教養人が住み、その多くは権力者の保護のもとで活動した。

エ ルネサンス期のある絵画

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

オ 2つの異なる時代の宇宙観を示した図

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

カ ルネサンス期のある文学作品

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

	生徒A	生徒B	生徒C	生徒D
1	エ	ウ	カ	オ
2	エ	カ	ウ	オ
3	オ	カ	エ	ウ
4	カ	ウ	オ	エ

B 日本史

B 1 次の文章を読んで、下の各問に答えよ。

① 長雨、日照り、冷夏などの異常気象によって、農作物の収穫量が大きく減ることは現代でもある。中世では、それがすぐに飢饉につながり、さらに疫病の流行を招いた。中世年号の付けられた大飢饉では、飢えた人々の群れを、公家や僧侶たちが自身の日記に嘆息の言葉とともに描き出している。②

③ 15世紀半ば過ぎの大飢饉では、將軍みずから銭百貫文の施しをした。また飢饉のときには、借銭や借米をしたくても、貸主がなかなか見付からず、多くの人々が、安い値段で自身や子供を身売りして、なんとか生き延びようとした。

地震や火山の爆発も、いったん起これば被害が大きかった。地形そのものが変化し、火砕流などによって、耕地や集落が消滅してしまうこともあった。琵琶湖では、大地震のたびに湖岸の一部が沈下し、耕作地や湖岸の港が沈んでしまった跡が、現在でも湖底に存在するという。

④ 16世紀初めの明応の大地震では、伊勢大湊をはじめ紀伊半島の浦が大きな被害を受け、繁栄する港町安濃津に至っては、全く壊滅してしまった。

⑤ このほかの災害では、特に京都などの都市で頻発する火災が大きな被害を与え、富める人々は火災から財産を守るために、様々な工夫をした。

[問 1] 下線部①について、次の図アは中世の関東地方のある寺院の過去帳における年次別死亡者数の推移を示したものであり、図イはその過去帳における2か月ごとの死亡者数比率を示したものである。また、図ウは、19世紀前半の関東地方の別の寺院の過去帳における2か月ごとの死亡者数比率を示したものである。これらの図から読み取れる内容に関する記述として最も適切なものは、次のページの1～4のうちではどれか。解答番号は 30。

図ア

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

(黒田基樹「百姓から見た戦国大名」から作成)

図イ

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

(黒田基樹「百姓から見た戦国大名」から作成)

図ウ

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

(黒田基樹「百姓から見た戦国大名」から作成)

- 1 図アでは、寛正2(1460)年には死亡者数が多くなっているが、これは前年の冷害やイナゴの大発生によって起こった飢饉が原因である。
- 2 図アでは、文明6(1474)年には死亡者数が少なくなっているが、これは足利成氏と室町幕府が和睦し、享徳3(1454)年以来の享徳の乱が終結したことが原因である。
- 3 図イは、図ウの1815～1830年及び1841～1850年の分の傾向と似ており、図イの死亡の季節性は、19世紀前半の疫病が流行した時期の死亡の季節性と類似する。
- 4 図イは、図ウの1831～1840年の分の傾向と似ており、図イの死亡の季節性は、天保の飢饉前後の死亡の季節性と類似する。

[問 2] 下線部②について、次の史料ア、史料イは、それぞれ中世のある飢饉に関するものである。史料アは隠者文学の代表作として著名な随筆であり、史料イは鎌倉を中心にして活躍した僧侶が前執権に提出した著作物である。史料ア、史料イそれぞれの飢饉と時期的に最も近い出来事として適切なものは、下の1～6のうちのどれか。それぞれ答えよ。解答番号は史料アが 、史料イが 。

史料ア

史料イ

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

- 1 元の使者である杜世忠が鎌倉竜ノ口で斬首された。
- 2 比企能員が謀殺され、源頼家が伊豆修禅寺に幽閉された。
- 3 北条時頼が出家し、執権を北条長時に譲るが、以後も実権を掌握した。
- 4 源頼朝が権大納言・右近衛大将に就任した。
- 5 公暁が鶴岡八幡宮で、源実朝を暗殺した。
- 6 北条貞時が大地震の直後、平頼綱らを殺害した。

[問 3] 下線部③について、室町時代の飢饉に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 民間の僧侶が人々から寄付を集めて食料や小屋を提供したことにより、強盗や金品の略奪は発生しなかった。
- 2 米価をつり上げるため、京都の商人たちが結託して、京都の諸口を封鎖して米の入洛を阻止することにより、人為的な飢饉を起こすこともあった。
- 3 断続した凶作と飢饉の中、大量の飢饉難民が京都から周辺地域の村々へ繰り返し流入し、村の住民たちは二次飢饉に襲われた。
- 4 飢饉などのときに、酒屋や土倉、寺院などは、手元に集めた富を貯め込み、窮民救済などのための事業を実施することはなかった。

[問 4] 下線部④に関連して、次の地図は中世の東京湾周辺を示す略地図である。また、下の記述 1～6 は中世から近世にかけての東京湾沿岸の地域について記述したものである。略地図中の地点ア～エについての記述として最も適切なものは、それぞれ下の 1～6 のうちではどれか。解答番号はアが 、イが 、ウが 、エが 。

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

(池亨他編「みる・よむ・あるく 東京の歴史Ⅰ 通史編 1」から作成)

- 1 この地にあった城郭は、太田道灌によって築城され、その後、後北条氏の有力支城としての役割を果たし、16世紀後半には、徳川家康が入城し、城下の整備を行った。
- 2 石橋山の戦いに敗れた源頼朝が、再起を期して逃れた際に上陸した地であり、二階堂行氏所領配分断簡によると、この地は万寿御前に譲られていることが分かる。
- 3 室町時代には、伊勢からの廻船も入港し、鈴木道胤という有徳人が妙国寺を建立したことも知られており、近世には東海道の宿場として繁栄した。
- 4 北条氏の一族、金沢実時が別業を立てた地で、鎌倉末期から南北朝期にかけて、瀬戸神社や称名寺を中心に、日蓮宗の上行寺などの寺院が並び立ち、都市として栄えた。
- 5 室町時代の物語である『義経記』には「西国船」が着岸する地として描かれ、新田義興と戦った足利尊氏はここで軍勢を立て直している。
- 6 中世末期から製塩を行った地として知られ、徳川家康が関東に入部して以降は、積極的な保護が行われた。

[問 5] 下線部⑤について、火災から財産を守る様子について描かれた絵画として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

1

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

2

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

3

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

4

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

B 2 我が国の近代史に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の史料は、ある政治家が記した回想録の一部である。史料中の下線部①の時点の内閣における首相と外相の組合せをア～ウから、史料中の下線部②に該当する条約の条文の一部をA～Cからそれぞれ選んだ組合せとして適切なものは、下の1～6のうちのどれか。解答番号は **39** 。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

ア		イ		ウ	
首相	桂太郎	首相	伊藤博文	首相	伊藤博文
外相	小村寿太郎	外相	井上馨	外相	陸奥宗光

- A 将来朝鮮国若シ変乱重大ノ事件アリテ日中兩國或ハ一國兵ヲ派スルヲ要スルトキハ応ニ先ス互ニ行文知照スヘシ。其事定マルニ及テハ仍即チ撤回シ再タヒ留防セス
- B 本条約ハ其ノ実施ノ日ヨリ両締盟国間ニ現存スル嘉永七年八月二十三日〈中略〉締結ノ約定、〈中略〉及之ニ付属スル一切ノ諸約定ニ代ハルヘキモノトス。而シテ該条約及諸約定ハ右期日ヨリ総テ無効ニ期シ、随テ大不列顛国カ日本帝国ニ於テ執行シタル裁判権及該権ニ属シ、又ハ其ノ一部トシテ大不列顛国臣民カ享有セシ処ノ特典、特権及免除ハ本条約実施ノ日ヨリ別ニ通知ヲナサス全然消滅ニ帰シタルモノトス。
- C 清国ハ朝鮮国ノ完全無欠ナル独立自主ノ国タルコトヲ確認ス。因テ右独立自主ヲ損害スヘキ朝鮮国ヨリ清国ニ対スル貢獻典礼等ハ将来全ク之ヲ廃止スヘシ

- 1 アーA
- 2 アーB
- 3 イーA
- 4 イーC
- 5 ウーB
- 6 ウーC

[問 2] 次の資料Ⅰ～Ⅳは、第一次世界大戦開始後における我が国の景気に関するものである。資料から読み取れる、その当時の状況として適切なものは、次のページの 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

Ⅰ 貿易額の推移

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

(矢野恒太記念会編「数字でみる日本の100年 改訂第6版」から作成)

Ⅱ 資本金の増加比

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

(浜島書店「新詳日本史」から作成)

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

- 1 企業は第一次世界大戦中に資本金を増加させこれを蓄積したことが、戦後に大戦景気と呼ばれる空前の好況をもたらす大きな要因となった。
- 2 第一次世界大戦の勃発により国内経済が活況を呈し、我が国の購買力が高まり、終戦時まで輸入超過が続いた。
- 3 我が国の化学工業、造船業、金属工業などの重化学工業は発展したが、海外に需要のなかった軽工業分野の紡績業は大きく衰退した。
- 4 第一次世界大戦が勃発したことにより、我が国は1915年から1918年にかけて輸出超過となり、海運業や造船業は空前の好況となった。

B 3 我が国の戦後史に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 我が国の1950年代から1960年代までの対外政策に関する記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は 。

ア 中華人民共和国との国交は開かれていなかったが、廖承志と高碓達之助の交渉により準政府間貿易であるL T貿易が開始された。

イ アメリカ合衆国との間でM S A協定を締結したことにより、自衛隊の海外派遣が可能になった。

ウ ソ連との間で日ソ平和友好条約を調印したことにより、我が国の国際連合への加盟実現につながった。

エ 日韓国交正常化交渉は難航をきわめたがついに日韓基本条約の締結に至り、我が国は韓国を朝鮮にある唯一の合法的な政府とみなした。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 2] 「クリーン政治」を掲げ、国民の政治に対する信頼の回復と、石油危機後の経済の低成長時代への対応を目指した内閣のときに起きた出来事に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は 。

1 ニクソン政権との間に沖縄返還協定が調印され、沖縄の日本復帰が実現した。

2 我が国の首相が、フランスで開かれた第1回先進国首脳会議に参加した。

3 我が国で初めて、衆議院議員総選挙と参議院議員通常選挙が同日に行われた。

4 千葉県成田市に、新東京国際空港が開港した。

[問 3] 我が国の戦後の経済・社会の出来事に関する記述ア～エを年代の古いものから順に並べたものとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は 43。

ア 我が国も参加した5か国蔵相・中央銀行総裁会議が開かれ、ドル高の是正に介入するプラザ合意が成立した。

イ 男女平等を推進するために、男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進することを目的とした男女共同参画社会基本法が施行された。

ウ 大型間接税の導入によって財政再建を図るため、3%を税率とする消費税が初めて実施された。

エ 公害対策の総合的推進を図り、国民の健康を保護するとともに、生活環境を保全することを目的とした公害対策基本法が制定された。

1 ア → エ → イ → ウ

2 ア → エ → ウ → イ

3 エ → ア → イ → ウ

4 エ → ア → ウ → イ

B 4 次の問に答えよ。

[問] 高等学校「日本史B」の「幕藩体制の確立」の学習において、村と百姓について調べた内容を発表する活動を行った。発表に向けて、生徒A、生徒B、生徒C、生徒Dは次のような発言を行った。下のア・イは、調べる際に教師が生徒に提示した資料である。それぞれの発言を教師が補足するときに、生徒A～Dの発言と、提示する次のページの資料ウ～カとの組合せとして最も適切なものは、次のページの1～4のうちではどれか。解答番号は **44**。ただし、資料イ～カの「ある村」とはそれぞれ異なる村を示す。

生徒A：「江戸時代の村には、複数の領主がいる場合もあることが分かりますが、こうした中でも、村民の生活は村として一体をなしていたのではないのでしょうか。」

生徒B：「村高とは、一村の石高の合計で、年貢や諸役はこの村高によって賦課されましたが、領主は所領を把握するために土地の調査を実施しました。」

生徒C：「江戸時代の村の絵図には、人家が描かれていますが、当時の村民の家族構成はどのようなになっていたのでしょうか。」

生徒D：「江戸時代の村の絵図には、田畑が描かれていますが、江戸時代を通じて、田畑の土地の所有者に変化はなかったのでしょうか。」

ア 村と領主

イ ある村の絵図

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

ウ ある村の各戸の持高の変遷

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

エ ある村の明細帳

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

オ ある村に関する史料 1

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

カ ある村に関する史料 2

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

	生徒A	生徒B	生徒C	生徒D
1	ウ	エ	オ	カ
2	ウ	オ	エ	カ
3	エ	オ	カ	ウ
4	エ	カ	オ	ウ

C 地理

C1 自然環境に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 人間は、その生活の舞台である大地の変化に対応して、農業や漁業をはじめとする様々な営みを行ってきた。次の図は、日本付近の過去の気候変化と、現在の東京湾付近の地形の様子を模式的に示したものであり、下の図 1～4 は、約 6000 年前、約 2 万年前、約 6 万年前、約 12～13 万年前のいずれかの東京湾付近の地形の様子を模式的に示したものである。1～4 を、年代の古いものから順に並べたときに、2 番目と 4 番目のものとして適切なものはそれぞれどれか。解答番号は 2 番目のものが 、4 番目のものが 。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

現在

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

1

2

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

3

4

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

(貝塚爽平「富士山の自然史」及び水野一晴「自然のしくみがわかる地理学入門」から作成)

[問 2] 次のハイサーグラフア～ウは、それぞれ右下の略地図中のA～Cのいずれかの都市のものである。ア～ウと、A～Cの高日季の降水に最も大きな影響を及ぼす気圧帯との組合せとして適切なものは、下の1～6のうちのどれか。解答番号は 47。

ア

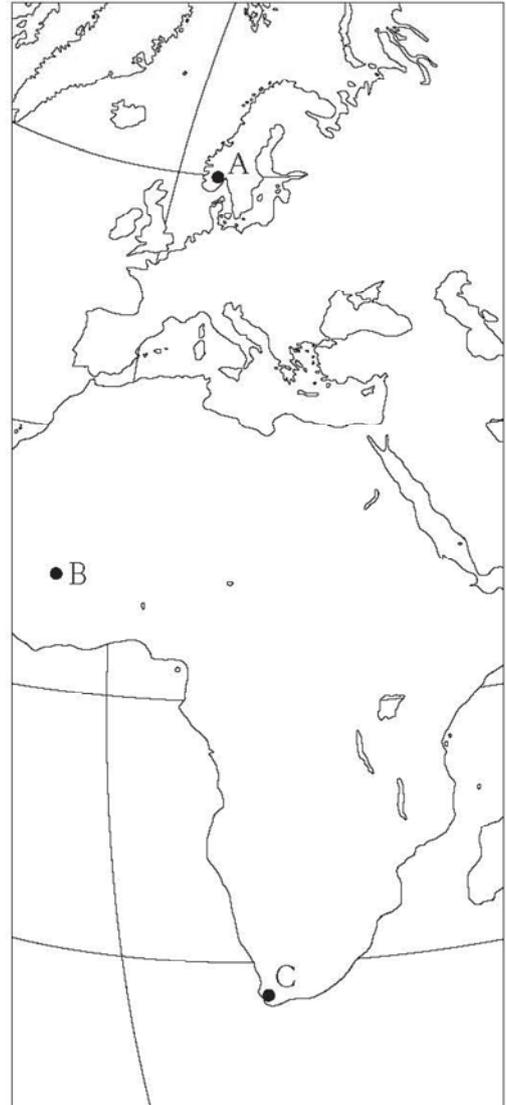
掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

イ

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

ウ

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。



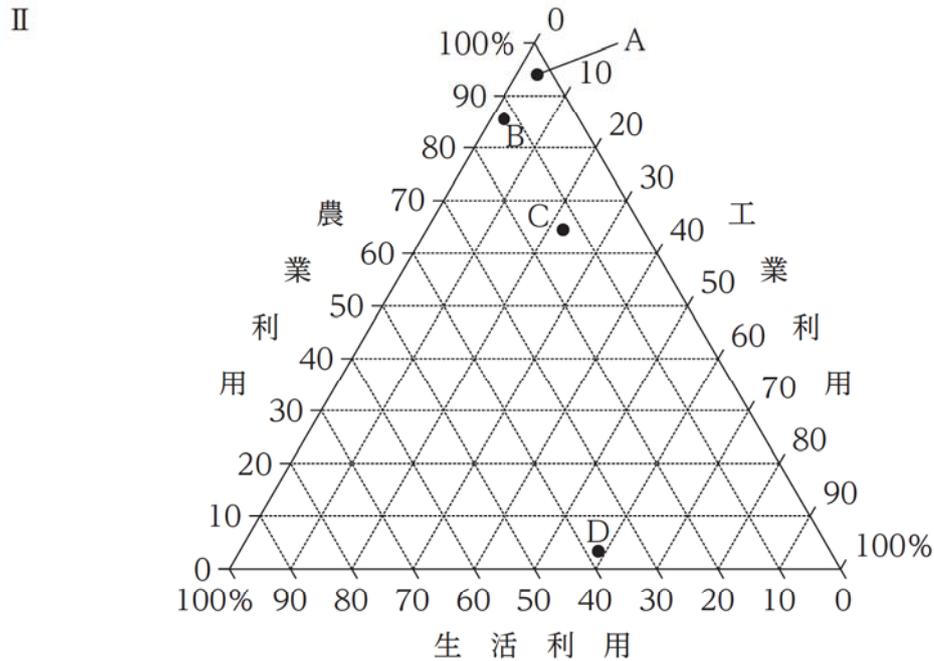
(国立天文台編「理科年表 平成30年」から作成)

- | | | | |
|---|----------|----------|----------|
| 1 | アー亜寒帯低圧帯 | イー赤道低圧帯 | ウー中緯度高圧帯 |
| 2 | アー亜寒帯低圧帯 | イー中緯度高圧帯 | ウー赤道低圧帯 |
| 3 | アー赤道低圧帯 | イー亜寒帯低圧帯 | ウー中緯度高圧帯 |
| 4 | アー赤道低圧帯 | イー中緯度高圧帯 | ウー亜寒帯低圧帯 |
| 5 | アー中緯度高圧帯 | イー亜寒帯低圧帯 | ウー赤道低圧帯 |
| 6 | アー中緯度高圧帯 | イー赤道低圧帯 | ウー亜寒帯低圧帯 |

[問 3] 次の I の表の **ア**～**エ** は、エジプト、スウェーデン、中国、ベトナムのいずれかの国の年降水総量・水資源賦存量を示したものであり、II の図の A～D は、エジプト、スウェーデン、中国、ベトナムのいずれかの国の農業利用、工業利用、生活利用から成る部門別使用量の割合を表したものである。**ア**～**エ** と A～D との組合せとして適切なものは、下の 1～8 のうちのどれか。解答番号は 48。

I	年降水総量 [km ³ /年]	水資源賦存量 [km ³ /年]	
			河川などによる国外からの流入割合 [%]
ア	51	58	96.91
イ	6,192	2,840	0.9619
ウ	603	884	59.35
エ	279	174	1.724

※ 年降水総量とは「年平均降水量×国土面積」の値であり、水資源賦存量とは、理論上で最大限利用可能な水資源の量のこと。
 全て2014年のデータ (FAO「AQUASTAT」より作成)

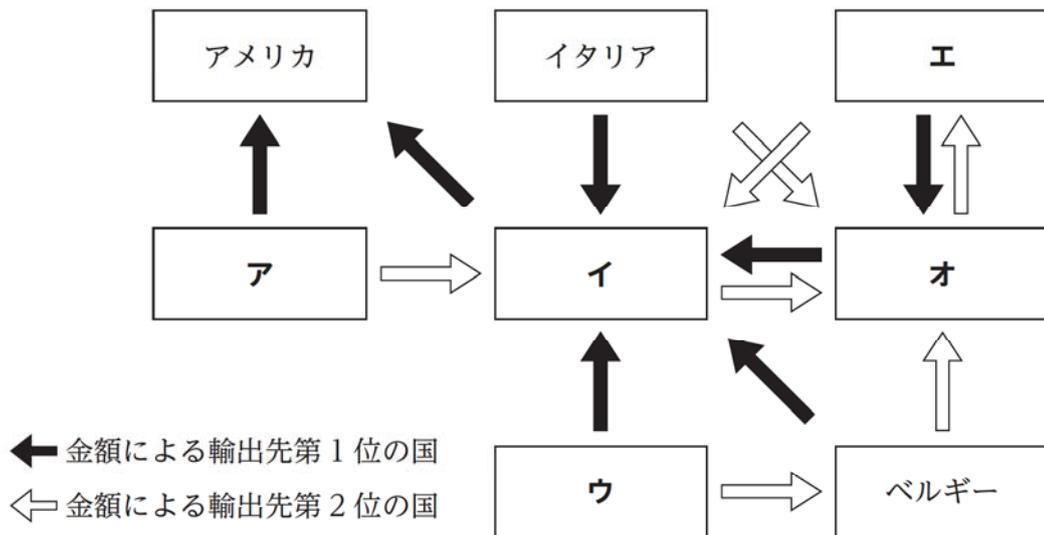


エジプトとスウェーデンは2010年、中国は2015年、ベトナムは2005年のデータ
 (FAO「AQUASTAT」より作成)

- | | | | |
|---------------|-----|-----|-----|
| 1 ア －A | イ－B | ウ－D | エ－C |
| 2 ア －A | イ－D | ウ－C | エ－B |
| 3 ア －B | イ－A | ウ－D | エ－C |
| 4 ア －B | イ－C | ウ－A | エ－D |
| 5 ア －C | イ－B | ウ－A | エ－D |
| 6 ア －C | イ－D | ウ－B | エ－A |
| 7 ア －D | イ－A | ウ－C | エ－B |
| 8 ア －D | イ－C | ウ－B | エ－A |

C 2 貿易、産業と人口に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の図は、2016年における輸出を通じた国のつながりについて模式的に示したもので、**ア～オ**はイギリス、オランダ、スペイン、ドイツ、フランスのいずれかの国である。また、下の表のA～Eはイギリス、オランダ、スペイン、ドイツ、フランスのいずれかの国の、2016年の主な輸出品と輸出額に占める割合を示したものである。オランダとフランスを表す組合せとして適切なものは、次のページの**1～0**のうちのどれか。解答番号は **49**。



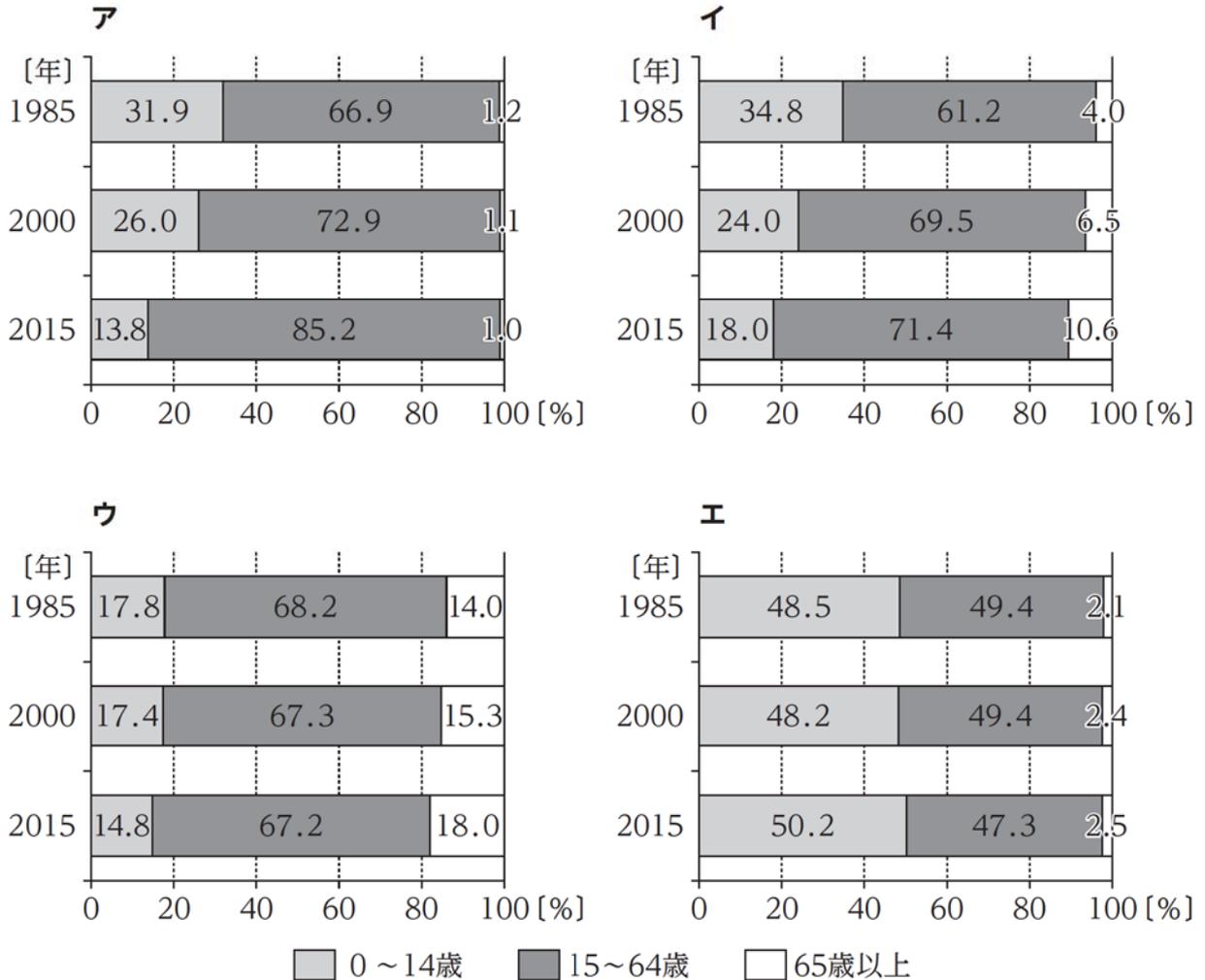
(二宮書店「データブックオブ・ザ・ワールド2018年版」から作成)

主な輸出品と輸出額に占める割合 [%]					
A	機械類26.6	自動車17.8	医薬品5.7	精密機械4.1	航空機3.3
B	機械類20.0	航空機10.9	自動車9.0	医薬品6.3	アルコール飲料2.9
C	機械類21.5	自動車12.2	医薬品8.1	航空機4.9	精密機械3.9
D	機械類23.0	石油製品8.9	医薬品5.6	化学薬品4.4	自動車3.6
E	自動車19.1	機械類13.4	野菜と果実6.6	衣類4.5	医薬品4.1

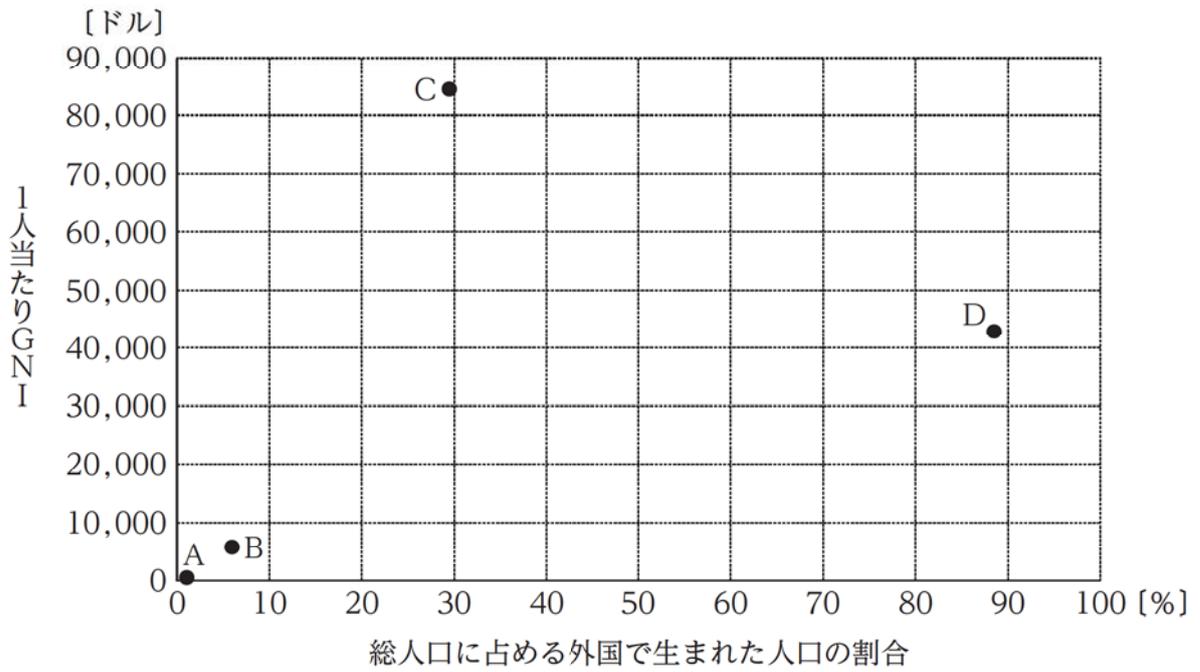
(二宮書店「データブックオブ・ザ・ワールド2018年版」から作成)

1	オランダー ア ・A	フランスー イ ・D
2	オランダー ア ・C	フランスー ウ ・E
3	オランダー イ ・B	フランスー ア ・C
4	オランダー イ ・E	フランスー エ ・A
5	オランダー ウ ・C	フランスー エ ・D
6	オランダー ウ ・D	フランスー オ ・B
7	オランダー エ ・A	フランスー オ ・C
8	オランダー エ ・E	フランスー ア ・B
9	オランダー オ ・B	フランスー ウ ・A
0	オランダー オ ・D	フランスー イ ・E

[問 2] 次の図ア～エは、アラブ首長国連邦、スイス、タイ、ニジェールのいずれかの国の総人口に占める0～14歳、15～64歳、65歳以上人口の割合を年代別に示したものである。また、次のページの図中のA～Dはアラブ首長国連邦、スイス、タイ、ニジェールのいずれかの国の2015年の1人当たりGNIと、総人口に占める外国で生まれた人口の割合を示したものである。スイスとタイを表す組合せとして適切なものは、次のページの1～8のうちどれか。解答番号は 。



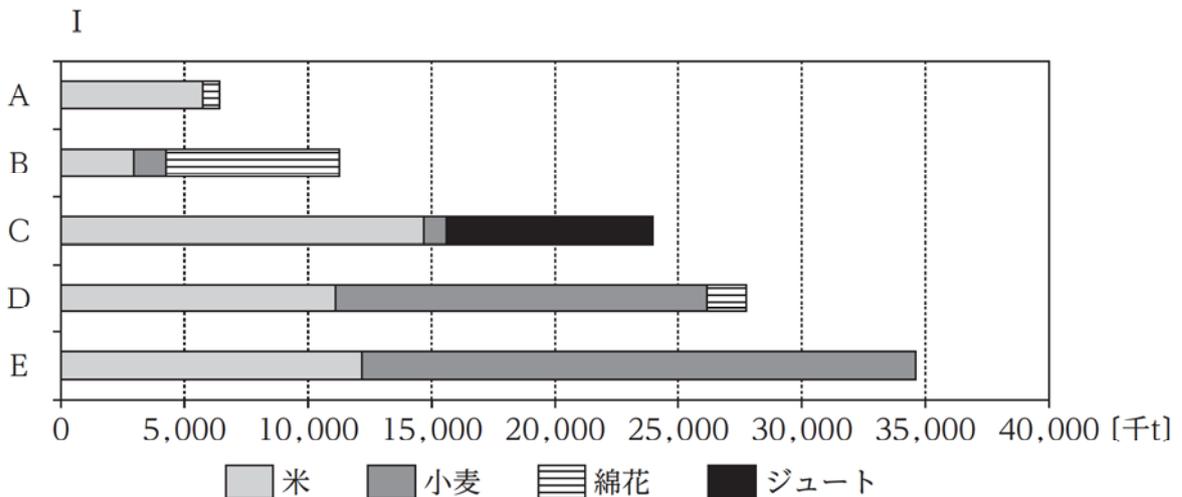
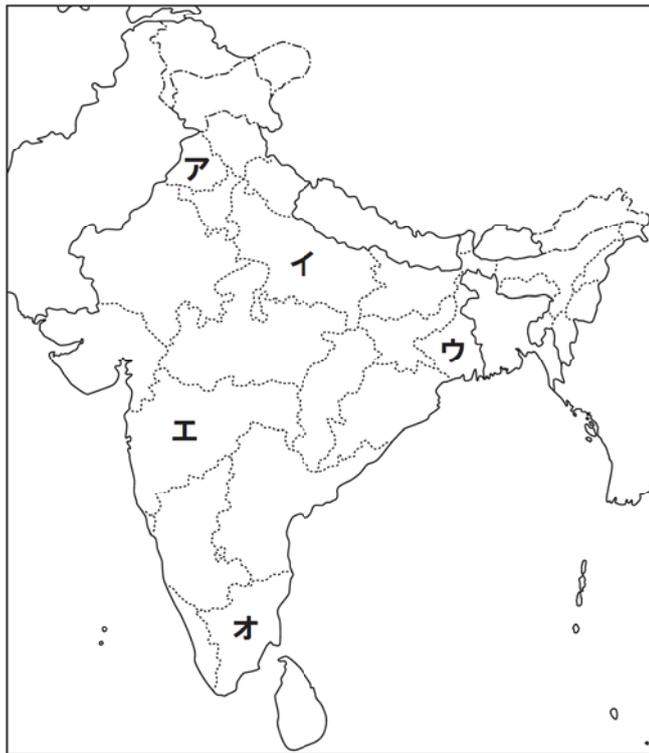
(United Nations 「World Population Prospects : The 2017 Revision」 から作成)



(二宮書店「データブックオブ・ザ・ワールド2018年版」、The World Bank「International migrant stock」から作成)

- | | | |
|---|---------|--------|
| 1 | スイス-ア・C | タイ-エ・B |
| 2 | スイス-ア・D | タイ-ウ・A |
| 3 | スイス-イ・C | タイ-ウ・B |
| 4 | スイス-イ・D | タイ-ア・A |
| 5 | スイス-ウ・C | タイ-イ・B |
| 6 | スイス-ウ・D | タイ-エ・A |
| 7 | スイス-エ・C | タイ-ア・B |
| 8 | スイス-エ・D | タイ-イ・A |

[問 3] 次の略地図中のア～オのインドの州について、下の I の図の A～E は各州のいずれかの 2014 年の主な農産物の生産量を、次のページの II の表の F～J は各州のいずれかの 2011 年の宗教別人口を示したものである。略地図中のアとウの州を表すものの組合せとして適切なものは、次のページの 1～0 のうちのどれか。解答番号はアが **51**、ウが **52**。



(Ministry of Statistics and Programme Implementation, Government of India
 「Statistical Year Book India 2017」から作成)

II

[千人]

	ヒन्दゥー教	イスラーム教	キリスト教	シク教	仏教	その他	計
F	10,678	535	348	16,004	33	143	27,743
G	63,188	4,229	4,418	14	11	285	72,147
H	64,385	24,654	658	63	282	1,230	91,276
I	89,703	12,971	1,080	223	6,531	1,865	112,374
J	159,312	38,483	356	643	206	809	199,812

数値は四捨五入しているため、各州の宗教別人口の和は、計と一致しないことがある。

(Ministry of Home Affairs, Government of India 「2011 Census Data」 から作成)

1 A・F

2 A・G

3 B・I

4 B・J

5 C・G

6 C・H

7 D・F

8 D・H

9 E・I

0 E・J

[問 4] 次の表は、関東地方の都県の製造品出荷額等第一位の産業の変遷を表したものである。

ア～ウは神奈川県、群馬県、千葉県のいずれか、A～Cは石油製品・石炭製品、電気・電子機械器具、輸送用機械器具のいずれかである。県名と産業との組合せとして適切なものは、下の1～9のうちのどれか。解答番号は 53。

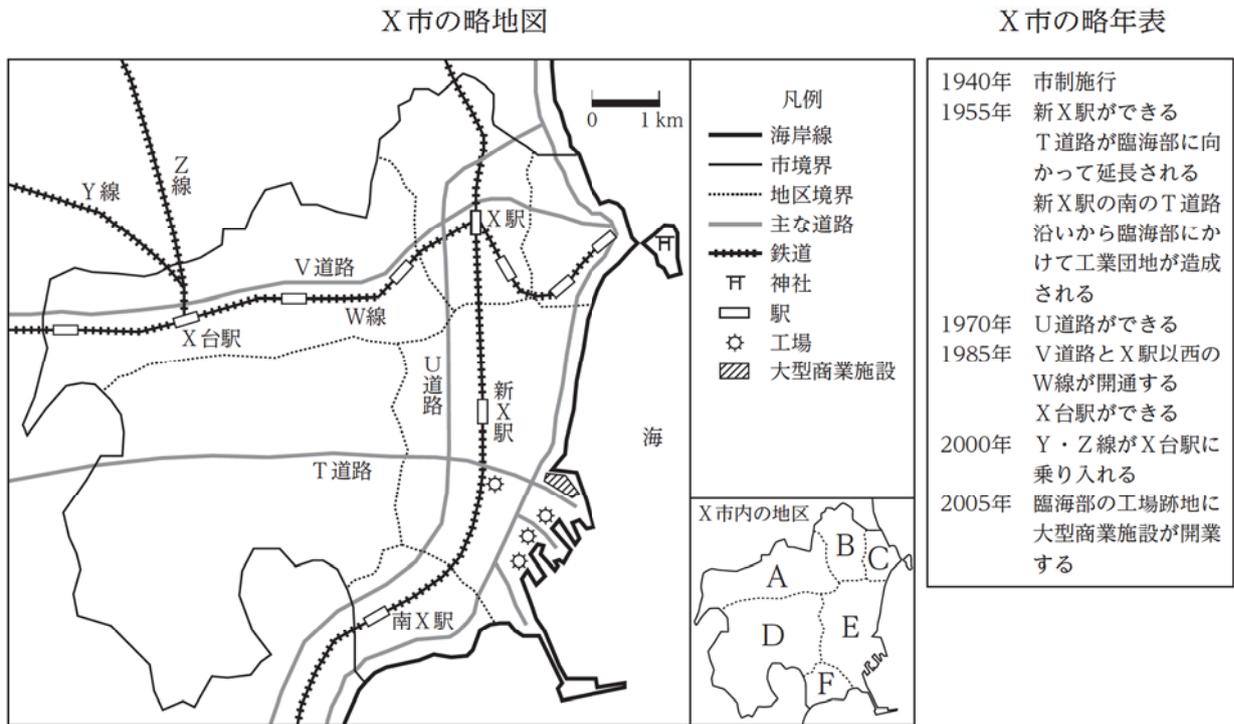
	1965年	1975年	1985年	1995年	2005年	2014年
東京都	一般機械器具	印刷	印刷	印刷	B	B
ア	繊維・衣服	A	B	A	A	A
イ	鉄鋼	C	C	化学	C	C
ウ	A	A	B	B	A	A
茨城県	B	B	B	B	一般機械器具	一般機械器具
埼玉県	A	A	B	B	A	A
栃木県	B	A	B	B	B	A

(日本統計協会「統計でみる日本2018」から作成)

- 1 ア 神奈川県 イ 群馬県 ウ 千葉県
A 石油製品・石炭製品 B 電気・電子機械器具 C 輸送用機械器具
- 2 ア 神奈川県 イ 群馬県 ウ 千葉県
A 電気・電子機械器具 B 石油製品・石炭製品 C 輸送用機械器具
- 3 ア 神奈川県 イ 千葉県 ウ 群馬県
A 輸送用機械器具 B 石油製品・石炭製品 C 電気・電子機械器具
- 4 ア 群馬県 イ 神奈川県 ウ 千葉県
A 石油製品・石炭製品 B 輸送用機械器具 C 電気・電子機械器具
- 5 ア 群馬県 イ 千葉県 ウ 神奈川県
A 電気・電子機械器具 B 輸送用機械器具 C 石油製品・石炭製品
- 6 ア 群馬県 イ 千葉県 ウ 神奈川県
A 輸送用機械器具 B 電気・電子機械器具 C 石油製品・石炭製品
- 7 ア 千葉県 イ 神奈川県 ウ 群馬県
A 電気・電子機械器具 B 輸送用機械器具 C 石油製品・石炭製品
- 8 ア 千葉県 イ 神奈川県 ウ 群馬県
A 石油製品・石炭製品 B 電気・電子機械器具 C 輸送用機械器具
- 9 ア 千葉県 イ 群馬県 ウ 神奈川県
A 輸送用機械器具 B 石油製品・石炭製品 C 電気・電子機械器具

C3 地域調査に関する次の問に答えよ。

[問] 次の略地図に示したX市に引っ越してきた花子さんは、X市の成り立ちや地区ごとの特徴や違いに興味をもち、略地図や略年表を用いて地域調査を行った。下の(1)、(2)の各問に答えよ。



(1) 花子さんはX市の地区別人口の推移について調べ、次の表にまとめた。この表やX市の略地図、略年表から言えることとして最も適切なものは、次のページの1～4のうちではどれか。解答番号は 54。

[人]

	1955年	1970年	1985年	2000年	2015年
A地区	5,000	7,000	22,000	115,000	127,000
B地区	22,000	61,000	72,000	77,000	83,000
C地区	25,000	50,000	61,000	65,000	72,000
D地区	7,000	15,000	28,000	31,000	35,000
E地区	11,000	22,000	29,000	39,000	69,000
F地区	10,000	25,000	39,000	41,000	44,000
X市	80,000	180,000	251,000	368,000	430,000

- 1 A地区は1985年までは最も人口が少ない地区であったが、道路や鉄道、駅が新設されたことでジェントリフィケーションが起き、2000年にかけて人口が急増した。
- 2 B地区とC地区は、1955年から2015年までこの二地区合わせてX市の人口の半数以上を占め、交通網も密であることからX市の中心地である。
- 3 D地区とF地区は、1970年にU道路ができて以降、主だった開発が行われず、人口増加も他地区に比べ大きくないことからインナーシティ化している。
- 4 E地区は1955年に新X駅や工業団地の造成が行われたが、近年ウォーターフロントが再開発され、2000年から2015年にかけて最も人口が増加した地区となった。

(2) 花子さんは特に興味をもったA地区とE地区について、2015年時点での人口に関する様々な指標を調べ、次の表にまとめた。この表や前のページの図表から考えられることとして最も適切なものは、下の1～4のうちではどれか。解答番号は 55。

[%]

	昼夜間 人口比率	年少人口 割合	老年人口 割合	第二次産業 人口割合	第三次産業 人口割合
A地区	80.1	10.4	22.7	13.3	78.1
E地区	110.2	14.9	20.8	23.7	66.2
X市	98.1	13.6	24.2	20.5	70.6

- 1 A地区はX市の中で人口最大の地区であり、交通機関も発達していることからX市内の他地区やX市外からの通勤者が多く、朝晩の交通渋滞が激しいと考えられる。
- 2 A地区は現時点では老年人口割合はX市全体の値より低いが、1985年から2000年の間に住み始めた人々の高齢化により、この割合は今後高まると考えられる。
- 3 E地区は昼夜間人口比率が100を超えており、X市内で最も昼間人口が多い地区となるが、これはE地区に工業団地が立地していることによるものと考えられる。
- 4 E地区は工業団地があることや、年少人口割合がX市全体の値よりも高いことを考えると、今後も第二次産業人口割合が増加すると考えられる。

C 4 次の問に答えよ。

[問] 高等学校「地理B」の現代世界の諸地域の学習において、中国の産業や経済について調べた内容を発表する活動を行った。発表に向けて、生徒A、生徒B、生徒C、生徒Dは次のような発言を行った。下のア・イは、調べる際に教師が生徒に提示した資料である。それぞれの発言を教師が補足するときに、生徒A～Dの発言と、提示する次のページの資料ウ～カとの組合せとして最も適切なものは、次のページの1～4のうちではどれか。解答番号は **56** 。

生徒A：「中国では様々な農作物が作られており、特に南部は米の、北部は小麦の生産地域となっていることが分かります。南部と北部の生産される作物の違いは、自然環境の様子と関係があります。」

生徒B：「中国西部では牧畜が広く行われており、特にチベット自治区では、家畜としてヤクが多く飼われています。この地域でヤクが飼われるのは、自然環境の様子と関係があります。」

生徒C：「中国では山東省から広東省にかけての沿海部を中心に、行政区別の1人当たり総生産が高い地域があることが分かります。この地域には多くの工場が立地し、工業が盛んですが、なぜこうした傾向が見られるのでしょうか。」

生徒D：「中国の内陸部に位置する省や自治区では、行政区別の1人当たり総生産が低くなっており、中国では沿海部と西部で経済格差があることが分かります。こうした傾向に対して、どのような対策が取られているのでしょうか。」

ア 農牧業

イ 行政区別の1人当たり総生産

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

ウ 地形

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

エ 経済特区と経済技術開発区

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

オ 気温と降水量

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

カ 資源・エネルギーと交通・輸送網

掲載許可が
得られてい
ませんので、
掲載いたし
ません。

	生徒A	生徒B	生徒C	生徒D
1	ウ	カ	オ	エ
2	エ	オ	カ	ウ
3	オ	ウ	エ	カ
4	カ	エ	ウ	オ

31 (32採用) 【 中高共通 地歴 】

5

問題番号		解答番号	正答1	正答2	正答3	配点	備考
大問番号	小問番号						
1	1	1	3			4	
1	2	2	4			4	
1	3	3	6			4	
1	4	4	5			4	
2	1	5	4			4	
2	2	6	3			4	
2	3	7	4			4	
2	4	8	2			4	
3	1	9	4			4	
3	2	10	3			4	
3	3	11	1			4	
3	4	12	3			4	
4	1	13	2			2	
4	2	14	1			2	
A1	1	A	15			3	
A1	1	B	16			3	15が正答でなければ採点しない。
A1	2		17			5	
A1	3	A	18			5	
A1	3	B	19			5	
A2	1	A	20			3	
A2	1	B	21			3	20が正答でなければ採点しない。
A2	2		22			5	
A2	3		23			5	
A3	問	ア	24			1	
A3	問	イ	25			1	
A3	問	ウ	26			1	
A3	問	エ	27			1	
A3	問	オ	28			1	
A4	問		29			6	
B1	1		30			4	
B1	2	ア	31			3	
B1	2	イ	32			3	
B1	3		33			4	
B1	4	ア	34			1	
B1	4	イ	35			1	
B1	4	ウ	36			1	
B1	4	エ	37			1	
B1	5		38			4	
B2	1		39			4	
B2	2		40			4	
B3	1		41			4	
B3	2		42			4	
B3	3		43			4	
B4	問		44			6	
C1	1	2番目	45			4	
C1	1	4番目	46			4	
C1	2		47			4	
C1	3		48			4	
C2	1		49			4	
C2	2		50			4	
C2	3	ア	51			4	
C2	3	ウ	52			4	
C2	4		53			4	
C3	問	(1)	54			3	
C3	問	(2)	55			3	
C4	問		56			6	